



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 昭和シェル石油株式会社

コード番号 5002 URL <http://www.showa-shell.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCOO (氏名) 新井 純

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 吉岡 勉

TEL 03-5531-5591

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日

平成25年9月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,415,903	8.0	43,255	—	43,976	—	30,031	—
24年12月期第2四半期	1,310,887	△5.1	△10,875	—	△12,501	—	△12,590	—

(注)包括利益 25年12月期第2四半期 32,068百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 △11,442百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第2四半期	79.74	—
24年12月期第2四半期	△33.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年12月期第2四半期	1,156,137	—	301,934	—	24.0
24年12月期	1,233,193	—	273,783	—	20.3

(参考)自己資本 25年12月期第2四半期 277,530百万円 24年12月期 249,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年12月期	—	18.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,880,000	9.5	70,000	376.3	70,000	452.3	48,000	—	127.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	376,850,400 株	24年12月期	376,850,400 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	227,731 株	24年12月期	227,342 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	376,622,933 株	24年12月期2Q	376,623,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同様)の業績は、経済情勢や市場動向並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

〔目次〕

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)におけるわが国の経済は、政府が打ち出した緊急経済対策などを背景に個人消費や公共投資は年初より底堅く推移し、設備投資や企業の生産活動に持ち直しの動きがみられました。さらに、春以降は米国景気が底堅さを増すなか、為替レートの円高修正が進展したこともあって、輸出も緩やかに持ち直していきました。

原油価格を取り巻く国際情勢については、年初は好調な米国の暖房油需要や経済指標を反映して需要拡大の観測が高まりましたが、春以降は一転して新興国経済の成長鈍化などを背景に後退に向かいました。供給面ではシリアをはじめとする中東地域の地政学リスクの高まりは依然として解消されず、不透明感は根強いものでありました。

代表的な指標原油価格であるドバイ原油価格は、年初1バレル108ドル台で始まったのち、一旦は114ドルに達したものの、2月中旬より下落に転じ、4月には一時96ドルまで下落しました。以降も激しい値動きを示しながら、100ドル台で当第2四半期を終えました。

(原油価格、為替レートの状況)

	ドバイ原油 (ドル/バレル)	為替レート (円/ドル)	為替レート (円/ユーロ)
平成24年12月期 第2四半期連結累計期間	111.3	79.8	103.5
平成25年12月期 第2四半期連結累計期間	104.4	95.7	125.6
増減	△6.9	+15.9	+22.1

※各数値は該当期間の平均値によります。

このような経営環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高1兆4,159億円(前年同期比8.0%増収)、営業利益432億円(前年同期比541億円の増益)、経常利益439億円(前年同期比564億円の増益)となりました。なお、たな卸資産評価の影響等を除いた場合の連結経常利益相当額については229億円となり、前年同期に比して291億円の増益となりました。

各セグメントの業績は、次の通りです。

① 石油事業

当社グループの石油製品の販売状況は、国内経済に持ち直しの動きがみられるなか、特に春以降は軽油など中間留分の販売が堅調に推移したものの、油価高騰による石油火力発電向けC重油販売の低迷もあり、結果として国内販売数量は前年同期を下回りました。一方、国内石油製品の需給環境は年初の冷え込みや円高是正による輸出の増加などにより、総じて緩みなく推移をしたものの、春以降は原油価格に先んじて製品価格が下落する局面もあり、マージンは厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、石油事業の売上高は1兆3,460億円(前年同期比5.4%増収)、営業利益は378億円(前年同期比373億円の増益)となりました。また、たな卸資産評価の影響を除いた場合の営業利益相当額は167億円(前年同期比100億円の増益)となりました。

## ② エネルギーソリューション事業

太陽電池事業については、引き続き旺盛な国内需要を背景に生産量を上回るペースでC I S薄膜太陽電池の出荷が続いています。当社100%子会社であるソーラーフロンティア株式会社と株式会社日本政策投資銀行が設立した共同投資会社「S Fソーラーパワー株式会社」は、アジアの空港で最大級となる大規模太陽光発電所「K I Xメガソーラー」を建設することで新関西国際空港株式会社と、さらにサントリーホールディング株式会社とは同グループが保有する国内3ヶ所の工場にメガソーラーを設置することで合意しました。生産面では、主力の国富工場にて生産されるC I S薄膜太陽電池の製品出力が順調に向上しており、現在主流となっている多結晶系シリコン太陽電池モジュールに匹敵するエネルギー変換効率14.6% (モジュール出力179.8ワット) のチャンピオンモジュールを製造することに成功しました (米国の第三者機関より認証済)。

電力事業については、グループ内発電所が安定した稼働を継続しており、複数の販売チャネルを通して電力供給することで、需給ギャップの解消に貢献しました。

これらの取り組みの結果、エネルギーソリューション事業の売上高は657億円 (前年同期比123.4%増収)、営業利益は48億円 (前年同期比168億円の増益) となりました。

## ③ その他

その他に関しては、売上高は41億円、営業利益6億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆1,561億円となり、前連結会計年度末に比べ770億円減少しました。

負債は、8,542億円となり、前連結会計年度末に比べ1,052億円減少しました。なお、有利子負債 (長期・短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債の合計) 残高は2,317億円となり、前連結会計年度末に比べ339億円減少しました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ281億円増加して3,019億円となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間における純利益等の増加要因が期末配当等の減少要因を上回ったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しについては、前回 (平成25年2月14日公表) 予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,175	12,915
受取手形及び売掛金	377,552	302,350
商品及び製品	152,362	165,631
仕掛品	1,985	2,687
原材料及び貯蔵品	123,141	121,578
その他	38,699	38,379
貸倒引当金	△591	△331
流動資産合計	711,325	643,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,422	101,882
機械装置及び運搬具(純額)	147,409	136,698
土地	157,735	157,470
その他(純額)	22,096	24,575
有形固定資産合計	430,662	420,626
無形固定資産		
投資その他の資産	10,532	10,684
その他	81,344	82,282
貸倒引当金	△672	△667
投資その他の資産合計	80,672	81,614
固定資産合計	521,867	512,925
資産合計	1,233,193	1,156,137
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	336,884	279,948
短期借入金	65,933	79,786
未払金	172,522	158,152
未払法人税等	6,604	14,443
引当金	2,363	2,141
コマーシャル・ペーパー	26,000	8,000
その他	71,989	50,652
流動負債合計	682,297	593,126
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	138,794	123,949
退職給付引当金	74,493	74,229
特別修繕引当金	15,890	17,458
その他	27,933	25,440
固定負債合計	277,111	261,076
負債合計	959,409	854,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,197	34,197
資本剰余金	22,113	22,113
利益剰余金	193,250	219,890
自己株式	△184	△185
株主資本合計	249,375	276,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	1,348
繰延ヘッジ損益	125	166
その他の包括利益累計額合計	450	1,514
少数株主持分	23,957	24,404
純資産合計	273,783	301,934
負債純資産合計	1,233,193	1,156,137



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,310,887	1,415,903
売上原価	1,257,682	1,307,171
売上総利益	53,205	108,731
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	19,373	19,941
人件費	17,743	17,541
その他	26,963	27,993
販売費及び一般管理費合計	64,080	65,476
営業利益又は営業損失(△)	△10,875	43,255
営業外収益		
受取利息	88	75
受取配当金	454	409
為替差益	—	224
持分法による投資利益	—	848
匿名組合投資利益	761	659
貸倒引当金戻入額	480	250
その他	912	948
営業外収益合計	2,697	3,416
営業外費用		
支払利息	2,187	2,074
為替差損	613	—
持分法による投資損失	640	—
その他	882	621
営業外費用合計	4,323	2,695
経常利益又は経常損失(△)	△12,501	43,976
特別利益		
固定資産売却益	1,247	437
補助金収入	1,786	4,341
その他	316	435
特別利益合計	3,350	5,215
特別損失		
固定資産処分損	943	856
投資有価証券評価損	841	912
減損損失	268	494
その他	186	224
特別損失合計	2,240	2,488
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,391	46,703
法人税、住民税及び事業税	1,897	14,669
法人税等調整額	△1,698	1,074
法人税等合計	199	15,743
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,591	30,959
少数株主利益	999	928
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,590	30,031

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,591	30,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	883
繰延ヘッジ損益	72	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	184
その他の包括利益合計	148	1,109
四半期包括利益	△11,442	32,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,448	31,094
少数株主に係る四半期包括利益	1,005	974

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,391	46,703
減価償却費	21,734	20,022
減損損失	268	494
固定資産除売却損益(△は益)	△304	418
受取利息及び受取配当金	△542	△485
支払利息	2,187	2,074
売上債権の増減額(△は増加)	61,297	75,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,061	△12,408
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,803	△65,528
その他	△17,726	△11,890
小計	1,658	54,602
利息及び配当金の受取額	550	487
利息の支払額	△2,233	△2,115
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,816	△7,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,840	45,634
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,890	△12,168
無形固定資産の取得による支出	△592	△1,321
有形固定資産の売却による収入	2,071	851
投資有価証券の取得による支出	△69	△8
投資有価証券の売却による収入	—	99
短期貸付金の増減額(△は増加)	1,153	1,905
長期貸付けによる支出	△2	△979
長期貸付金の回収による収入	3	1
その他	△219	△546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,546	△12,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,689	△1,258
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	3,000	△18,000
長期借入れによる収入	—	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,143	△1,033
社債の償還による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△3,390	△3,390
少数株主への配当金の支払額	△574	△592
その他	△702	△755
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,878	△38,730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,491	△5,260
現金及び現金同等物の期首残高	14,466	16,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,958	11,718

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,276,871	29,416	1,306,288	4,599	1,310,887	—	1,310,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,860	2,525	6,386	2,063	8,449	△8,449	—
計	1,280,732	31,942	1,312,674	6,663	1,319,337	△8,449	1,310,887
セグメント利益又は損失 (△)	470	△12,041	△11,571	722	△10,849	△25	△10,875

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益調整額△25百万円は、セグメント間取引消去です。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油事業	エネルギー ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,346,005	65,710	1,411,716	4,187	1,415,903	—	1,415,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,838	8,032	12,870	1,460	14,331	△14,331	—
計	1,350,843	73,743	1,424,586	5,648	1,430,235	△14,331	1,415,903
セグメント利益又は損失 (△)	37,821	4,812	42,634	628	43,263	△7	43,255

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、建設工事、自動車用品の販売及びリース業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益調整額△7百万円は、セグメント間取引消去です。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。